

米づくり情報（NO. 11）

令和元年8月26日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
8月	1	27.4	28.9	32.2	34.0	23.7	24.9	28.7	0.0	34.0	55.9
	2	27.4	27.7	32.2	32.9	23.7	23.8	31.2	25.5	32.8	26.1
	3	27.3	28.7	32.0	33.8	23.8	24.8	35.9	45.0	30.1	34.2
	4	27.0	26.3	31.7	29.9	23.5	23.7	38.1	61.0	28.7	14.3
	5	26.6	25.1	31.3	29.2	23.0	22.3	38.3	98.5	28.7	14.9
	6	26.1		30.9		22.4		45.4		35.2	
9月	1	25.4		30.1		21.7		37.1		28.6	
	2	24.5		29.2		20.8		36.2		26.8	
	3	23.7		28.4		19.9		37.9		26.0	

1) 8月4～5半旬は平年と比較して、平均気温は1～2℃程度低く、降水量は多く、日照時間は寡少傾向で推移した。

2 生育状況（8月19日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	莖数 本/㎡	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
ヒノヒカリ 6/19移植 松浦町桃川	本年値	102.7	366	13.9	32.6	<ul style="list-style-type: none"> ・平年は、8月26日出穂。 ・草丈は高く、出穂は平年と比べ数日遅い見込み。
	平年値	—	—	—	—	
	平年比	—	—	—	—	
たんぼの夢 6/18移植 松浦町桃川	本年値	85.7	388	14.3	38.1	<ul style="list-style-type: none"> ・平年は、8月27日出穂。 ・草丈は高く、出穂は平年と比べ数日遅い見込み。
	平年値	—	—	—	—	
	平年比	—	—	—	—	

※夢しずくの耕種概要は、稲作情報 No.2 を参照。

※夢しずくの出穂期は8月9日となった。

※ヒノヒカリ、たんぼの夢の耕種概要は、稲作情報 No.3 を参照。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上旬移植）

- ・糊熟期となっている。
- ・水管理は間断灌水を行い、土壌を固めると共に根の活性化を図る（土が柔らかい圃場では、間断灌水の落水期間を長めにし、土壌表面を固める）。また、収穫の7日前までは必ず間断灌水を行い、圃場に水を通すようにする（早期落水による米の品質低下を防ぐため）。

2) 普通期水稻「夢しずく」

- 穂揃い期～乳熟期を迎えている。
- 穂孕み期から穂揃い期にかけては、イネの用水要求度が高い時期であるため、水が切れることがないように圃場の水管理を徹底する。

《参考 夢しずくの出穂状況》

- 5月25日移植：8月3日（標高100m）
- 6月3日移植：8月9日（標高70m）
- 6月10日移植：8月17日（標高100m）
- 6月19日移植：8月21日（標高25m）

3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- 現在、生育ステージは穂孕み期～出穂始期となっている。
- 本年は、平年より草丈が高く、徒長傾向で推移している。

《参考》出穂期の平年値

ヒノヒカリ	8月26日頃
たんぼの夢	8月27日頃

4) 共通

①いもち病

- 葉いもちの発生が見られる圃場や地域では、穂孕み期の防除を徹底する。また、発生が多いと予想される場合（上位3葉に病斑が確認される）は、穂揃い期にも臨機防除を行う。

※いもち病の発生が著しい場合、間断灌水における落水期間を長くすることで病気を助長することがあるので注意する。

【穂いもちの防除適期】

病害虫名	稲のステージ 出穂前後日数	生育ステージ							
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20
穂いもち	並発生の場合 多発生の場合			←→	←→	←→			



いもち病（進展型）



いもち病（停止型）

②ウンカ類

※8月1日に農業技術防除センターより「トビイロウンカ」の発生予察注意報が発表された。

※8月16日に農業技術防除センターが実施した早植え水稻（県北部山間地域）の調査（16圃場）では、トビイロウンカの発生株率は16.0%（平年2.8%、前年0.0%）であり、平年および前年より多かった。

※8月16～22日に同センターが実施した普通期水稻の調査（48圃場）では、トビイロウンカの発生株率は7.4%（平年4.1%、前年0.0%）であり、平年よりやや多く、前年より多かった。




※早植え及び普通期水稻とも、一部圃場では本虫の急激な増殖が確認されている。また、多くの圃場で、増殖率の高い短翅型雌成虫が散見されている。











※セジロウンカの飛来量が少ない年は、トビイロウンカの増殖率が高まる傾向にあり、本年は、セジロウンカの飛来量が少なく、トビイロウンカの増殖に好適な条件となっている。

※特に、フルスロットル箱粒剤ではなく、ブイグットプリンスリンパーL粒剤等を使用している圃場では、注意して圃場を観察しウンカ類の発生状況把握に努める。

【ウンカ類の見分け方】

ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	 :真横
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	 :真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	 :斜め後ろ

		トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
成虫		 長翅雌  短翅雌		 雌  雄
幼虫	若齢			
	中齢～老齢			

トビイロウンカ各世代の発生予測（2019年8月22日作成）



図3 トビイロウンカ各世代の発生予測（第6版、2019年8月22日作成）

1. 6月6～7日頃(図では6月6日)、6月30日頃、7月10～11日頃(図では7月10日)、7月21日頃に飛来したウンカを起点とし、有効積算温度と佐賀市川副町の気温データ(第5版では7月31日までは実測値で以降は平年値、第6版では8月21日までは実測値で以降は平年値)を基に作成した。その結果、第6版は第5版と比べ、各飛来虫の、その後の発生時期は約2～3日遅くなった。

2. 本虫に対しては、幼虫ふ化揃い期の防除効果が最も高い。しかし、本年は断続的に飛来がみられたことから、飛来波ごとの幼虫の出現時期は異なる。

3. 普通期水稻には、6月6日飛来虫は定着していないと考えられる。この例のように、各飛来波に対する防除の重要度は、田植え時期によって異なる。

4. 田植え時期に加え、地域、水稻の品種、これまでの防除歴等の違いによって、飛来波ごとのウンカの発生量は異なるので、必ず圃場の発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。

5. 今後の気象経過に応じて、本図は更新する。最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

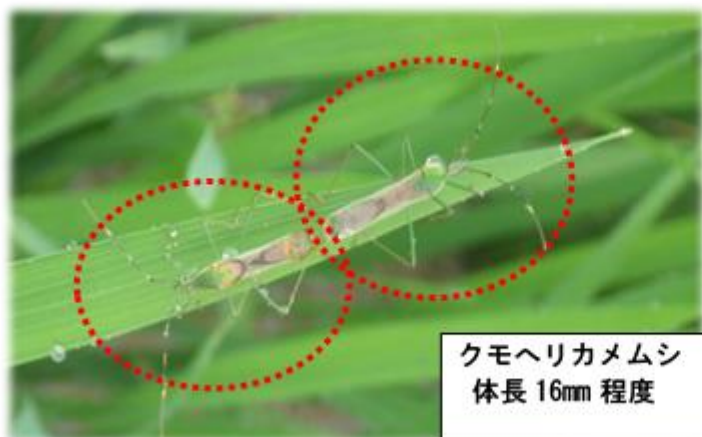
③カメムシ類

- 耕種的防除として、出穂 10 日前までには必ず畦畔の草刈りを終える。出穂後に行くとカメムシ類が圃場に侵入し、被害を助長する。
- 薬剤防除としては、乳熟期（出揃い期の約 10 日後）の防除を徹底して、斑点米の被害防止を図る。発生が多い圃場では穂揃い期（出穂期の約 5 日頃）と乳熟期の 2 回防除を実施する。

★多発生の目安 ⇒ 20 回のすくいとり調査でカメムシが 5 頭以上の場合

【カメムシ類の防除適期】

病害虫名	稲のステージ 出穂前後日数	防除適期							
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20
カメムシ類	並発生の場合 多発生の場合					←→		←→	



クモヘリカメムシ
体長 16mm 程度



ホソハリカメムシ
体長 11mm 程度

④紋枯病

- 昨年度形成された菌核が伝染源となるため、昨年度発生した圃場では薬剤防除を徹底する。

病害虫名	稲のステージ 出穂前後日数	防除適期							
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20
紋枯病	並発生の場合 多発生の場合	←→	←→		←→				

⑤コブノメイガ

- 本年は、ここ数年と比べてコブノメイガの発生・食害が多い。
- コブノメイガの防除適期は、発蛾最盛期の7日後（幼虫孵化揃い期）である。被害葉が多くみられる圃場では、蛾の発生状況に応じて臨機防除を実施する。

⑥稲こうじ病

- 本病は土壌伝染病であるため、昨年発生が確認された圃場では適切に防除を実施する。
- 薬剤防除として水和剤や粉剤を使用する場合は出穂の20～10日前に、粒剤の場合は出穂30～20日前を中心に防除を実施する。また、肥料が遅効きしないよう適切な肥培管理を行う。

令和元年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：伊万里)

西松浦農業改良普及センター

